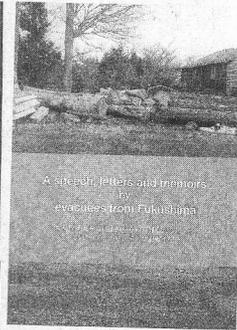


原発避難者の思い 世界へ

現状・教訓…「事故は終わっていない」

東京電力福島第一原発事故で、関西に子どもと避難した母親や支援者が英語の冊子を作った。原発避難の現状と教訓、そして自分たちの思いを世界に届けたいと、国際会議でも発信している。



英語の冊子作って発信

でつくる「東日本大震災避難者の会 Thanks & Dream」。英語のタイトルは「A speech, letters and memoirs by evacuees from Fukushima」。3人の母親の講演録や手記、住宅支援継続を求める知事宛ての手紙などを英語と日本語で収録した。A5サイズで70ページ。きつかけは、同会代表の森松明希子さん(42)が昨年3月、仙台市での国連防災世界会議の関連事業に招かれ、英



人権を考える集会で、「避難者の声は届いているのか」と訴えた森松さん＝大阪市北区

語でスピーチした。森松さんは、放射線による健康被害を恐れ、第一原発から約60キロの福島県郡山市から、当時3歳の長男と7カ月の長女を連れて大阪に避難。「広島・長崎、福島を経験し、私たち日本人はこれ以上『ヒバクシャ』をつくり出してはいけないと気づくべきだ」と訴えた。英訳は、支援者で兵庫県西宮市のチェイス洋子さんが引き受けた。

このスピーチを、別の母親2人の避難手記などの英訳とともにフェイスブックで公開。それを見た英国の女性アーティストから「こちらでもシェア(共有)したい」と連絡があり、ロンドンでの放射能を考えるイベントで冊子として配ると伝えてきた。

「私たちが一つ一つの体験が事実であり、5年が過ぎた今も原発事故は全く終わっていないことがわかってもらえらる」と思っていると森松さん。冊子は500円(カンパ協力金)。希望する人は「冊子希望」と書き、メールで同会(sandori2014@gmail.com)に申し込む。(稲垣大志郎)

オトナになった女子たちへ

伊藤理佐

「1冊、買ってあげるよ。自分で選んでいいよ。」

と、本屋さんで言われたムスメが30分後に持ってきた本



税別 950円。

1026円に上る?

おつりが ホッ……よかった。

おかぬ、たくさん

が、自分は有名人でもないし、うちの子はムスコじゃなくムスメだが、例えばなにかあって、今日の女子高生やオジサマがインタビューされた時、どんなふうに言うんだろう。

「子供がお金のことを気にして……」

豊かな発想力に脱帽。やはり磨かないとダメですね。今のプロテインを飲むことになるの(千葉県 森上訓行さん 45歳)。体温104・8011朝日新聞文化くらしナ女子係へ。

